

# にしのおいけ

社会福祉法人 平成会

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5  
TEL (082) 434-0405  
FAX (082) 434-5599  
メール [heiseikai@nishinoike.or.jp](mailto:heiseikai@nishinoike.or.jp)  
HP <http://www.nishinoike.or.jp/>  
編集 (社福) 平成会 広報部  
発行者 (社福) 平成会理事長 赤坂 秀則

第 85 号  
(平成 30 年 7 月 1 日)



ミュージック・ケアの一場面「フラップパルーン」の様子

4面に紹介記事

## 新商品のお知らせ

全粒粉(ぜんりゅうふん)入りの食パンを作りました。  
「全粒粉とは？」  
小麦の表皮や胚芽を丸ごと粉にしたものです。  
普通の小麦粉にくらべて  
★食物繊維が豊富。  
★鉄分、ビタミンB1、ミネラルが豊富。  
★カロリーが少なめ。  
「肝心の味は？」  
お任せください！さらに小麦の香ばしさと小麦本来の旨みが味わえます。  
ぜひ、お試しください。



全粒粉入り食パン ¥280 (1斤)

## デイセンター「こだま」

音楽のチカラ

平成会では7年前より『ミュージック・ケア』という手法の集団音楽療法を、デイセンター「こだま」と多機能型事業所あさひでの活動に取り入れていています。  
音楽療法とは、音楽そのものを学ぶことではなく、音楽そのものが持つ力を利用して心身の発達に働きかけたり、社会性を習得していくことを目的としています。つまり、音楽は目的達成のための一つの『ツール(きっかけ)』と言えます。  
コミュニケーションツールとしての音楽の使い方注目してみると、音楽は、もちろん一人で歌を歌ったり楽器を演奏することで満足感を得ることができます。しかし、仲間と一緒に楽器を演奏したり体を動かす時には、音楽を通して相手が奏でる音やリズム・動きを感じ、そこに自分が合わせることで一体感が生まれ、一人では味わえない達成感を得ることが出来ます。そこではごく自然に協調性を養っているのです。  
音楽には、まだまだ目には見えない『チカラ』がたくさん存在しています。今後もいろんな方に、音楽の『チカラ』を感じて頂けるようなセッションを実施していきたいと考えております。

支援員 梶川響子

## ホームヘルパーサークル「こだま」

夏のヘルパー外出

夏休みになると、ヘルパーの「グループ外出」を利用して、様々な場所に出かけています。その中で皆さんが特に楽しみにされているのが、広島市にあるファミリープールへの外出です。普段泳げない大きなプールに感激し、楽しんで泳がれます。夏休みが終わるまでに水の中へ潜れるようになった人、「滑り台に行きたい！」と自分の意思を伝えられるようになった人など、様々な経験を積む事で、秋になる頃はみなさんとてもたくましく成長され、驚いてしまうばかりです。

今後も、利用者さん一人ひとりに寄り沿って支援を行い、成長を見守って行きたいです。

訪問介護員 山本一成

## 第22回

ふれあいまつり

・日時 7/27 (金) 17:00

(雨天時 7/28)

・場所 西の池学園

ご来場をお待ち  
しております！



## 宮領デイセンターの担う役割

この4月、高屋町宮領地区に新しく「宮領デイセンター」が開設して早3ヶ月が経とうとしています。開設にあたり、また開設後も皆様には大変お世話になり、あたたかいお声やお気持ちを感じました。この場を借りてお礼申し上げます。  
現在の障害者福祉施策の流れとして、障害があっても住み慣れた家、住みたい地域で当たり前に生活ができる社会を目指して制度が変更されています。

例えば、障害のある方たちが住み慣れた地域で安心して暮らしているよう、様々な支援を切れ目なく提供するための整備を各市町が準備しています。また、社会福祉法人に対しては、既存の社会保障や福祉政策にとどまらない生活支援を行う地域へ貢献することを求めています。

平成会は、宮領地区において、昨年はグループホームを開設し、来年には就労支援センターの建設を計画しています。宮領デイセンターを含め、このような様々な機能を活かして、障害福祉サービスの提供のみならず、困ったときに頼りになる存在になりたいと思っています。地域の皆さんと一緒に地域を盛り上げながら、障害がある方もない方も、だれもが住みよい地域を創っていくことの一環を担いたいと考えています。

高屋町に、宮領地区に平成会があつてよかつたと思っただけのような事業所を目指して、職員一同取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

宮領デイセンター

管理者 浅野正道